

## 2023 年度(令和 5 年度)温室効果ガス排出状況

### (1) 温室効果ガス排出量(基準年度比)

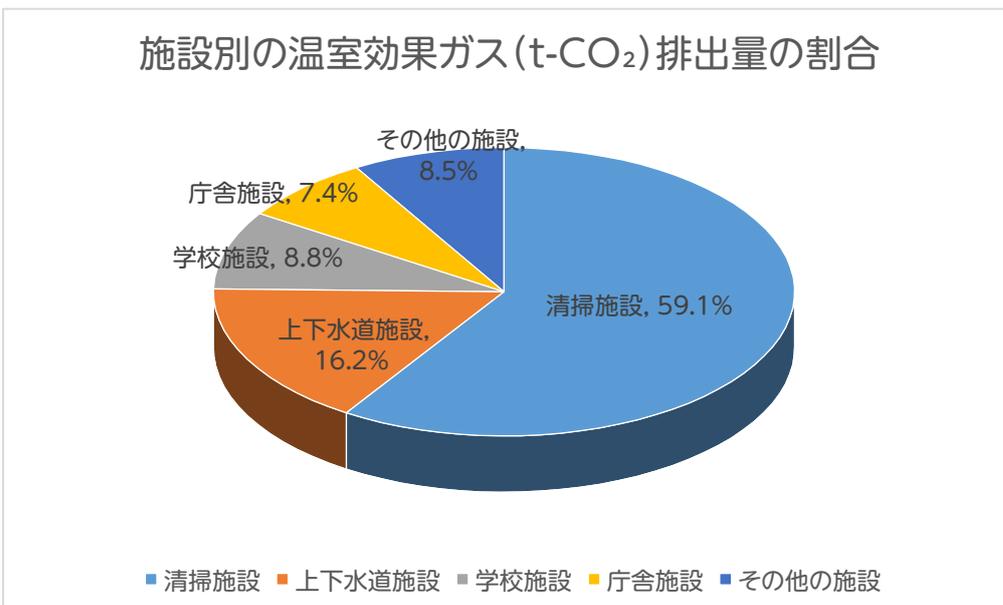
2023 年度の温室効果ガス排出量は、基準年度である2013年度の 16,189t-CO<sub>2</sub>から、14,794 t-CO<sub>2</sub>となり 1,395 t-CO<sub>2</sub>減少しました。

また、エネルギー起源二酸化炭素は 16%の減少、非エネルギー起源二酸化炭素は 1%減少しました。

エネルギー種別	2013 年度 (基準年度) 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	2023 年度 (令和 5 年度) 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	基準年度比
エネルギー起源二酸化炭素	8,336	7,003	-16%
電気	6,663	5,560	-15%
灯油	695	397	-43%
軽油	304	211	-31%
ガソリン	278	277	-0.4%
ガス(LPG)	266	232	-13%
重油	130	72	-45%
都市ガス	—	164	—
非エネルギー起源二酸化炭素	7,853	7,791	-1%
廃プラスチック類の焼却	7,853	7,791	-1%
計	16,189	14,794	-9%

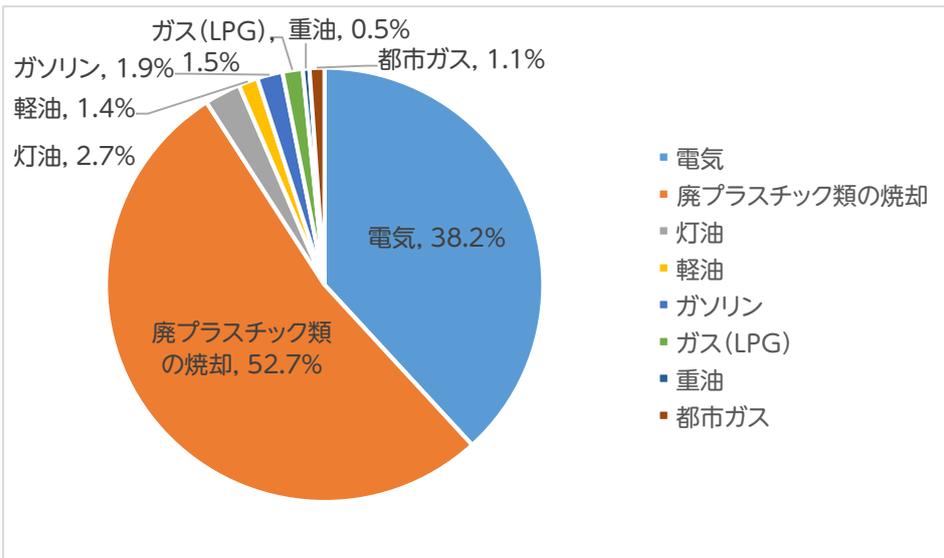
### (2) 施設別の温室効果ガス排出量の割合

清掃施設が全体の 59.1%を占め、次いで上下水道施設 16.2%、学校施設 8.8%、庁舎施設 7.4%となっています。



### (3) エネルギー種別の温室効果ガス排出量の割合

エネルギー種別では、廃プラスチック類の焼却(52.7%)と、電気(38.2%)で全体の90.9%を占めています。



### (4) 温室効果ガス別削減目標

温室効果ガス排出量 14,794 t-CO<sub>2</sub>のうち、エネルギー起源二酸化炭素が7,003t-CO<sub>2</sub>、非エネルギー起源二酸化炭素が7,791 t-CO<sub>2</sub>となっています。

